

# 令和5年度 自己評価表

郡山学院高等専修学校

## 1 教育目標

- (1)社会性を養成し、職業人としての意識をもつ生徒を育成する。
- (2)資格取得を通じて、目標に向かって努力できる生徒を育成する。
- (3)社会のルールを守り、他者に対しておもいやりをもち、協調性のある生徒を育成する。

## 2 基本方針

- (1)基本的な生活習慣を身につけさせる。
- (2)基礎学力を身につけさせる。
- (3)資格取得の意識を高め、職業意識を高揚し向上心をもたせる。

## 3 今年度の重点目標

- (1)退学者の減少。入学定員 60 名の確保。
- (2)入学定員 60 名の充足。
- (3)資格取得率の向上。

## 4 評価項目の達成、取組状況

### (1) 教育理念・目標

評価項目	評価
学校の理念・育成人材像は定められているか。	4・3・2・1
学校における職業教育の特色は理解されているか。	4・3・2・1
社会経済のニーズを踏まえた将来構想を抱いているか。	4・3・2・1

(評価 4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切)

#### ア 課題

特に問題はない。

#### イ 改善方策

特にない。

### (2) 学校運営

評価項目	評価
運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4・3・2・1
運営組織や意思決定機関は、規則等で明確化されているか。	4・3・2・1
人事・給与に関する規定等は整備されているか。	4・3・2・1
地域社会や企業との信頼関係が醸成されているか。	4・3・2・1
情報システム化等業務の効率化が図られているか。	4・3・2・1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4・3・2・1

#### ア 課題

パソコン室 AB の 2 教室のうち、県に補助申請をしてパソコン室 B のパソコン30台と教員用パソコンの入れ替えをしたが、パソコン室 A のパソコン30台の入れ替えができていない。

イ 改善方策

令和 7 年度に再度県に補助申請をしてパソコン室 A 教室のパソコン30台を入れ替えたい。

(3)教育活動

評 価 項 目	評 価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4・3・2・1
育成人材像を踏まえた修業年限に対応した時間は確保されているか。	4・3・2・1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4・3・2・1
資格取得に関する指導体制、カリキュラムの体系的な位置づけは明確か。	4・3・2・1
人材育成目標の達成に向けた授業を行う教員は確保されているか。	4・3・2・1
教職員の能力開発のための研修が行われているか。	4・3・2・1

ア 課 題

特にない。職員研修を 3 回実施した。発達障害のある生徒の就職のために就労支援移行施設の方を講師に研修を行った。就労支援進路指導用の職員用の書籍を購入し職員に配布した。

イ 改善方策

特にない。

(4) 学習成果

評 価 項 目	評 価
就職率の向上が図られているか。	4・3・2・1
資格取得率の向上が図られているか。	4・3・2・1
退学率の低減が図られているか。	4・3・2・1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4・3・2・1

ア 課 題

・退学者4名(1年生1名、2年生2名、3年生1名)

退学者は、適応障害による不登校・家庭事情・進路変更の理由によるものであった。

イ 改善方策

・前年度よりも退学者を減少することができたが、面談での指導力を高めてより退学者を減らしたい。

(5) 生徒支援

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
生徒相談に関する体制は整備されているか。	4・3・2・1
生徒に対する経済的支援体制は整備されているか。	4・3・2・1
上級学校との連携による職業教育の取り組みが行われているか。	4・3・2・1
保護者と適切に連携しているか。	4・3・2・1
卒業生への支援体制はあるか。	4・3・2・1

ア 課題

特にない。

イ 改善方策

特にない。

(6) 教育環境

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	4・3・2・1
防災に対する体制は整備されているか。	4・3・2・1

ア 課題

特に問題はない。

イ 改善方策

特にない。

(7) 生徒の受入れ募集

評価項目	評価
生徒募集は適切に行われているか。	4・3・2・1
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4・3・2・1
学納金は妥当なものとなっているか。	4・3・2・1

ア 課題

新入生定員 60 名で 56 名を確保することができた。(昨年定員 60 名で 60 名入学)

イ 改善方策

特にない。

(8) 財務状況

評価項目	評価
中長期的に学校の財務状況は安定しているか。	4・3・2・1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4・3・2・1
財務について会計監査が適切に行われているか。	4・3・2・1
財務情報公開の体制整備はできているか。	4・3・2・1

ア 課題

ケイセンと学院の両校の安定した入学生の確保。

イ 改善方策

より効果的な広報活動と退学者の減少に努力する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4・3・2・1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4・3・2・1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4・3・2・1
自己評価結果を公開しているか。	4・3・2・1

ア 課題

問題はない。

イ 改善方策

特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4・3・2・1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4・3・2・1

ア 課題

ボランティア活動の奨励。

イ 改善方策

近隣の清掃ボランティアと献血を継続して実施する。

次年度に地域住民を招待してのコンサート開催予定。

## 5 総合評価

- ・令和5年度は、月間皆勤賞の授与・休憩室の確保・休憩用のロビーチェアやテーブルの設置等で退学者を減少することができたことがよかった。
- ・入学者が定員 60 名を下回ってしまったことが残念であった。(56 名)
- ・進路先決定率は 100%で、進学 19 名・就職 25 名・就労支援 3 名であった。令和 6 年度も 100%を達成させたい。
- ・2、3 年生は前年度よりも資格取得数を増加させることができた。

(令和5年度各学年の平均資格取得数)

1年生 3.5種目資格取得 のべ 5.0回合格 (昨年 取得 3.7 のべ 5.3)

2年生 6.0種目資格取得 のべ 8.4回合格 (昨年 取得 5.4 のべ 7.9)

3年生 6.9種目資格取得 のべ10.2回合格(昨年 取得 5.8 のべ 8.1)

- ・進路決定 100%を達成することができた。

進学決定率 100%(19名中19名合格)

大学1名・短大1名・専門学校17名

就職決定率 100%(25名中25名内定)※ハローワーク高校新卒正社員求人

就労支援 3名 合計47名(入学定員50名)